4 リーディングプロジェクト

本プランを推進し、成果目標を達成するために必要な事業を、次の4つの視点から「リーディングプロジェクト」として設定し、特に優先的に実施します。

視点①:フラッグシップ(旗艦)となること

視点②:早期の取り組みが可能なこと

視点③:基本施策を複合的に実施できること

視点④:継続的な取り組みとして展開できること

4つのリーディングプロジェクト

Ⅰ. 久留米を楽しむ! 一くるくるチケットプロジェクトー

Ⅱ. 久留米を 過遊る! 一ぶらぶら耳納北麓プロジェクトー

Ⅲ. 久留米を輸る! 一すいすい自転車プロジェクトー

Ⅳ. 久留米に集まる! 一くるくるMICEプロジェクトー

久留米くるくるチケ

久留米くるくるチケット



I. 久留米を楽しむ!

一くるくるチケットプロジェクトー

久留米を訪れた国内外の観光客やMICE参加者が「久留米らしさがあふれる魅力」を安心して満喫できるように、厳選された観光資源や食、体験、お土産などを、あらかじめ購入したチケットでお得に楽しむことができる仕組みをつくります。これにより、観光・MICEの振興を久留米地域での消費行動に結び付け、地域経済の活性化につなげていきます。

【主な関連施策】

基本方針1. 地域資源を活かした観光の推進(6施策)

基本方針2.(1)広域連携を強化し魅力あふれる観光商品をつくる (2)交通事業者とさらに繋がる

基本方針3.(2)多言語による情報発信を強化する (4)ニーズに対応した観光商品をつくる

基本方針4. 戦略的なMICEの誘致(5施策)

基本方針 5. ほとめき人材の育成と組織づくり(4施策)

基本方針7.(1)観光客のニーズを知る (2)久留米の強みを活かしたプロモーションを行う

1. 事業イメージ

主なターゲット © 初めて久留米を訪れたMICE参加者・ビジネス客など



Point

- ①久留米連携中枢都市圏(仮称)での連携事業として実施し、圏域の多彩な魅力を提供。
- ②MICEサポート窓口(久留米市MICE開催支援協議会: KMS(仮称))による取扱いのほか、チケット付宿泊プラン(ホテルなどとのタイアップ)やパックツアー(旅行業者とのタイアップ)などによる商品展開。
- ③販売手数料収入による事務局の自主運営が可能。
- ④商品を磨き上げ、提供し続けることによる提供者のホスピタリティ向上。
- ⑤パンフレットなどのPRツールは多言語対応とし、外国人旅行者にも紹介。

2. 推進のステップ

ステージ1

- ・販売体制の構築 ・料金·手数料設定
- ・商品造成
- ・PRツール(パンフ·HPなど)作成
- ·販路確保

ステージ2

- ・PRツール(パンフ·HPなど)更新
- ・商品造成
- ·販路拡大

ステージ3

- ・事務局による自主運営化
- ·商品造成

3. 活動指標

平成31年度の 年間延べ利用者数目標 10.000人

リーディング Project

Ⅱ. 久留米を周遊る!

一ぶらぶら耳納北麓プロジェクトー

豊かな自然と景観に育まれた「みどりの里·耳納風景街道」や草野の町並み、高良山などの魅力を活かし、耳納北麓エリアに観光客を誘導します。そして、散策やウォーキング、レンタサイクルなどで周遊してもらうことで、賑わいをつくりだすとともに、地域経済の活性化に結び付ける周遊型ツーリズムを推進します。

【主な関連施策】

基本方針1. 地域資源を活かした観光の推進(6施策)

基本方針3.(2)多言語による情報発信を強化する (4)ニーズに対応した観光商品をつくる

基本方針4. (4) 久留米ならではのユニークベニューを提案する

基本方針5. ほとめき人材の育成と組織づくり(4施策)

基本方針6. ほとめき観光の基盤づくり(2施策)

1. 事業イメージ

主なターゲット 『② 観光客・MICE参加者

日常的な誘客の取り組み(例)

周遊エリア マップの活用

- ・散策などで日常的に活用・駅や飲食店などでの配布
- ・駅や飲食店などでの配布、 活用

散策サインの整備

ほとめきガイドサービスの実施

外国人観光客向けフルーツ狩り ガイドブック・マップなどの作成

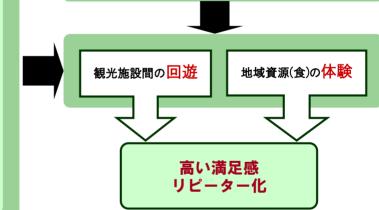
市民協働によるステーション (休憩所)の設置

スマートフォン活用 (ナビ機能を利用した観光地案内)

イベントによる集客(例)

耳納北麓エリアの周遊スタンプラリー

「つつじマーチ」や「緑のハイキング」などの 実施、耳納北麓を舞台としたツアー造成



Point

・マップは多言語対応とし、外国人観光客などにも紹介。

2. 推進のステップ

ステージ1

- ·関係団体協議
- ・推進体制の確立
- ・つつじマーチなど開催

ステージ2

- ・つつじマーチなど開催
- ・マップ制作
- ・ホテルレンタル整備

ステージ3

- ・つつじマーチなど開催
- ・マップ更新
- ・ホテルレンタル拡充

ステージ4

- ・つつじマーチなど開催
- ・スマートフォンアプリ
- 開発

3. 活動指標

平成31年度の 耳納北麓エリア観光入込客数目標 230万人

ー ディング Project

Ⅲ. 久留米を

まわ

一すいすい自転車プロジェクトー

「みどりの里・耳納風景街道」や「耳納スカイライン」、「筑後川サイクリングロード」 などを活かすサイクリングコースの提案、ホテルへのレンタサイクルや用具の設置などに よる日常的な取り組みに加え、広域的なサイクルイベントを開催します。また、観光拠点 に設置するレンタサイクル、中心市街地のコミュニティサイクル、さらには競輪場やサイ クルファミリーパークを活用し、久留米を満喫できるサイクルツーリズムを推進します。

【主な関連施策】

基本方針 1. (1)自然や景観を活かす (6)スポーツ・健康をテーマとして取り組む

基本方針2. (1)広域連携を強化し魅力あふれる観光商品をつくる

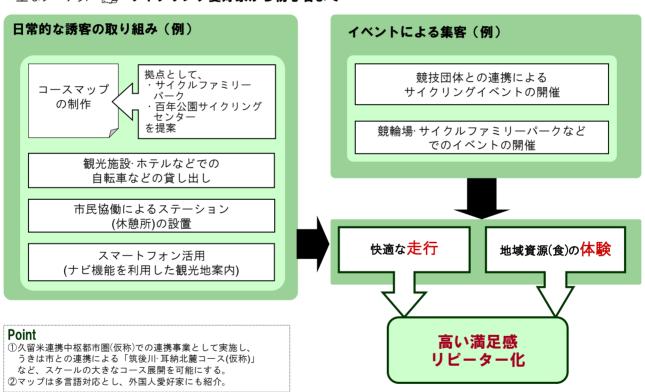
基本方針3.(2)多言語による情報発信を強化する

基本方針4. (4)久留米ならではのユニークベニューを提案する

基本方針6. ほとめき観光の基盤づくり(2施策)

1. 事業イメージ

主なターゲット 🖙 サイクリング愛好家から初心者まで



2. 推進のステップ

ステージ1

- · 関係団体協議
- 推進体制の検討

ステージ2

- ・マップ制作
- ・コース周辺ステーションの調整
- ・ミニイベントの開催
- ・レンタル整備

ステージ3

- サイクルイベント開催
- ・マップ更新
- ・レンタル拡充

ステージ4

・スマートフォン . アプリ開発

3. 活動指標

平成31年度の イベント参加者・ サイクルファミリーパーク入園者・ レンタサイクル利用者数の合計数目標 35.000_A



Ⅳ. 久留米に集まる!

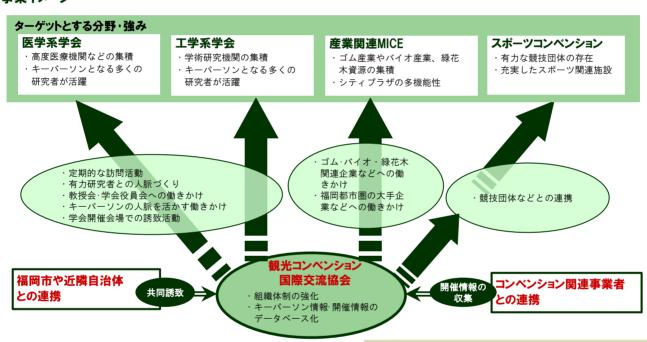
一くるくるMICEプロジェクトー

平成28年に開館予定の「久留米シティプラザ」や平成30年に改築が完了する予定の「久留米総合スポーツセンター」を開催拠点とし、久留米の強みをふまえてターゲットを絞ることで、地域特性を活かす「久留米ならでは」のMICE誘致・開催支援を行い、さらに、MICE開催による経済効果を確実に地域に波及させます。

【主な関連施策】

- 基本方針1. 地域資源を活かした観光の推進(6施策)
- 基本方針2.(3)福岡市とさらに繋がる
- 基本方針4. 戦略的なMICEの誘致(5施策)
- 基本方針 5. (1)オール久留米で取り組む観光推進体制を築く
- 基本方針7. (1)観光客のニーズを知る (2)久留米の強みを活かしたプロモーションを行う
 - (3)戦略的に情報を発信する

1. 事業イメージ



Point

- ①新たな開催支援補助制度の構築
- ②関連事業者などと連携したワンストップ支援サービス
- ③リーディングプロジェクト I を活用したアフターコンベンションの提案
- ④ユニークベニューの企画提案
- ⑤宿泊施設整備支援制度の構築

ワンストップ支援サービス

仮称:久留米市MICE開催支援協議会(KMS)

観光コンベンション国際交流協会を事務局とし、市内のコンベンション関連事業者·ホテル業者·ケータリング事業者·飲食店などで構成。

主催者にとって煩雑な会場手配や設営、参加者の移動手段 確保、飲食手配などの業務を受託することで、開催者を全 面的に支援しながら、経済効果を地域に波及させる。

2. 推進のステップ

ステージ1

- ・開催支援補助の構築
- ・宿泊施設補助制度の構築
- ・KMSの組織化

ステージ2

- ・開催支援補助の実施
- ・宿泊施設補助制度の実施

3. 活動指標

平成31年度の MICE開催支援件数目標 100件 各基本方針·基本施策は相互に連動しながら戦略的な集客を展開し、同時に、戦略を展開するための環境を整備します。また、4つのリーディングプロジェクトはそれぞれに関連する基本方針·基本施策を繋ぎながら推進します。

戦略的な集客の展開

│ 地域資源を活かした観光の推進

- (1) 自然や景観を活かす
- (2) 食やグルメを活かす
- (3) 地域産業を活かす
- (4) 文化芸術を活かす
- (5) 歴史や伝統文化を活かす
- (6)健康やスポーツをテーマとして取り組む

2 戦略的な広域観光の推進

- (1) 広域連携を強化し魅力あふれる観光商品をつくる
- (2) 交通事業者とさらに繋がる
- (3) 福岡市とさらに繋がる

3 ほとめきあふれるインバウンド観光の推進

- (1) 受け入れ体制を充実する
- (2) 多言語による情報発信を強化する
- (3) 連携したプロモーションを強化する
- (4) ニーズに対応した観光商品をつくる

4 戦略的なMICEの誘致

- (1) 久留米の強みを活かしMICEを誘致する
- (2) 久留米シティプラザにMICEを呼ぶ
- (3) 久留米総合スポーツセンターに スポーツコンベンションを呼ぶ
- (4) 久留米ならではのユニークベニューを提案する
- (5) MICE誘致・開催支援における人材を育成する

戦略を展開するための環境整備

5 ほとめき人材の育成と組織づくり

- (1) オール久留米で取り組む観光推進体制を築く
- (2) 地域密着観光を推進する
- (3) 久留米まち旅博覧会をさらに盛り上げる
- (4) 観光ボランティアガイドを充実する

7 観光客のニーズをふまえた情報戦略

- (1) 観光客のニーズを知る
- (2) 久留米の強みを活かしたプロモーションを行う
- (3) 戦略的に情報を発信する
- (4)新たな視点で魅力を発信する

6 ほとめき観光の基盤づくり

- (1) 観光基盤を充実する
- (2) 集客交流施設を活かす



効果的な事業推進

- Ⅰ. 久留米を楽しむ! 一くるくるチケットプロジェクトー
- Ⅱ. 久留米を周遊る! 一ぶらぶら耳納北麓プロジェクトー
- Ⅲ. 久留米を輪る! 一すいすい自転車プロジェクト―
- Ⅳ. 久留米に集まる! ―くるくるMICEプロジェクト―

戦略プランの目標(数値目標)

本戦略プランを計画的・効果的に推進していくために、戦略プランの目標の達成度を確 認する目標値を設定し、5年後の目指すべき姿とします。

この目標値を指標として戦略プラン推進の進捗を把握することにより、久留米市の観 光・MICE振興の政策全般での計画推進の成果を評価し、次期計画策定の際に見直しなどを 図るものとします。

観光入込客数(市独自基準による推計値)

平成25年

515万人

平成31年 700万人 35.9%

見込まれる経済効果の増:185万人×2,467円(平成25年久留米市への観光客の1人あたり直接消費額)

=45億6.395万円

来訪者満足度

「来訪者実態調査」の実施により計測し、「満足した」という割合を平成31年度に平成 27年度の10%増とすることを目標とします。

外国人来訪者数

次の3項目により来訪者数を把握し、平成31年度に平成27年度の30%増とするこ とを目標とします。

- ・市内ホテルへの外国人宿泊数
- ・観光案内所に来所した外国人の数
- ・フルーツ狩りに訪れた外国人の数

MICE開催支援件数

平成25年度

56件

平成31年度

100件



見込まれる経済効果の増:11億5,368万円(平成25年実績からの試算額)×78.6%

=9億679万円

第3章 これからの観光・MICE戦略

平成25年度 12,123人

平成31年度

22,000人



6

MICE参加者数

平成25年度 35,330人

平成31年度 63,000人



7

久留米まち旅博覧会

新規プログラム数

20%を継続

満足度

90%以上を継続

8

観光サイトアクセス数

久留米観光サイト「ほとめきの街 久留米」(http://www.kurume-hotomeki.jp/)のアクセス数

平成25年度

142万件

平成31年度

200万件



9

Wi-Fi環境整備

久留米市内のホテル·観光施設などへのWi-Fi設置割合

平成31年度までに

100%

観光振興・MICE誘致に関する施策は、非常に幅広い分野にわたっています。そこで、本戦略プランの確実な進行を図るためには、担当課だけではなく、庁内の各部署と連携し、庁内調整を図ります。さらには、行政、観光事業者、地域づくり団体などで構成する「久留米市観光・MICE戦略プラン推進会議」(仮称)を設置し、本プランを下図のように推進します。

